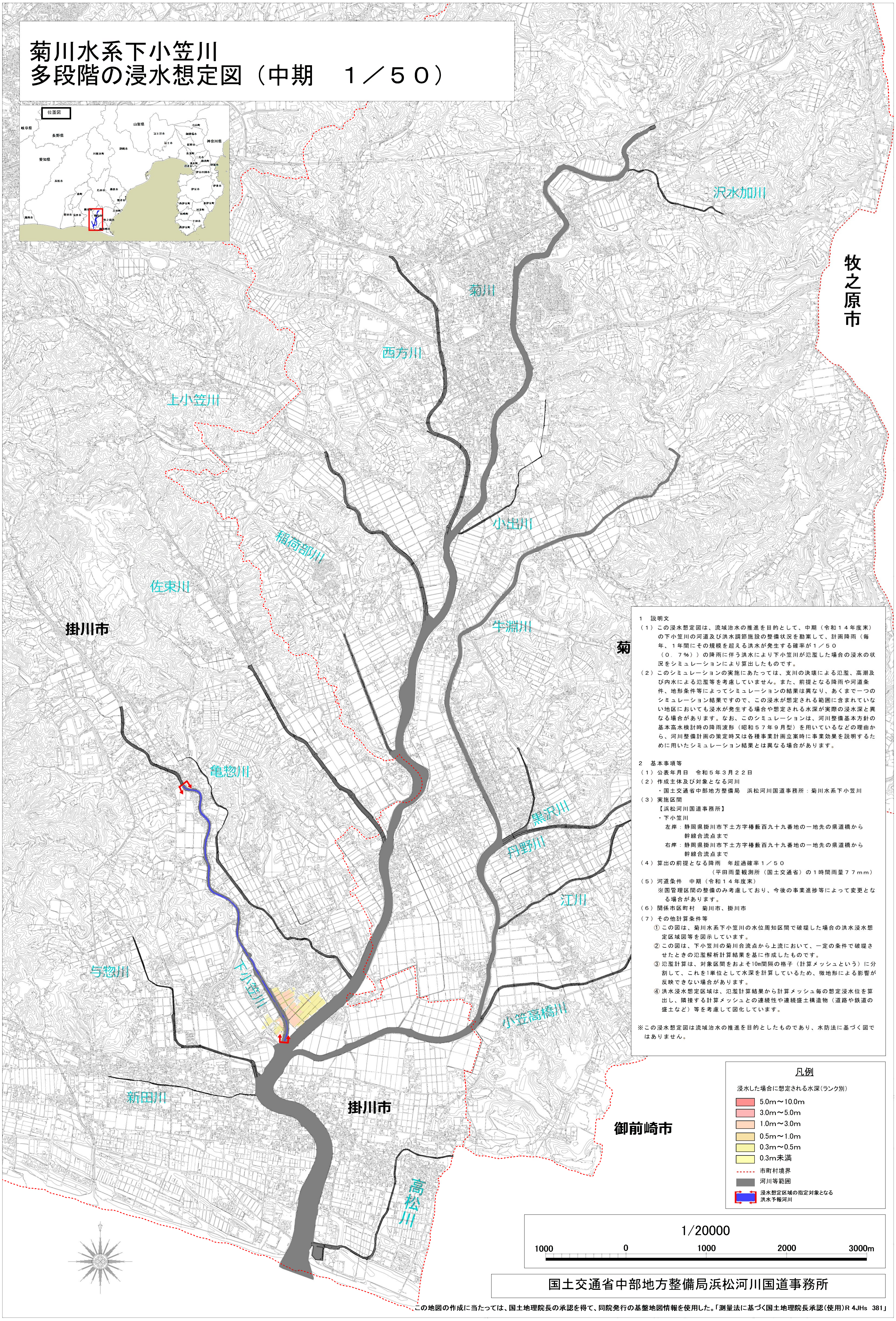
菊川水系下小笠川
多段階の浸水想定図（中期　１／５０）



１　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、中期（令和１４年度末）の下小笠川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、計画降雨（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（０．７％））の降雨に伴う洪水により下小笠川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（２）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和５７年９月型）を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

２　基本事項等

（１）公表年月日　令和５年３月２２日

（２）作成主体及び対象となる河川

・国土交通省中部地方整備局　浜松河川国道事務所：菊川水系下小笠川

（３）実施区間

【浜松河川国道事務所】

・下小笠川

左岸：静岡県掛川市下土方字椿藪百九十九番地の一地先の県道橋から幹線合流点まで

右岸：静岡県掛川市下土方字椿藪百九十九番地の一地先の県道橋から幹線合流点まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０（平田雨量観測所（国土交通省）の１時間雨量７７ｍｍ）

（５）河道条件　中期（令和１４年度末）

※国管理区間の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗等によって変更となる場合があります。

（６）関係市区町村　菊川市、掛川市

（７）その他計算条件等

① この図は、菊川水系下小笠川の水位周知区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。

② この図は、下小笠川の菊川合流点から上流において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ10m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 🟥 5.0m～10.0m
- 🟥 3.0m～5.0m
- 🟧 1.0m～3.0m
- 🟧 0.5m～1.0m
- 🟨 0.3m～0.5m
- 🟨 0.3m未満
- ┅ 市町村境界
- ■ 河川等範囲
- 🟦 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川

1/20000

1000　0　1000　2000　3000m

国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs　381」